

# 白山市外国人の方へのインタビュー調査（地域貢献活動推進事業） ～白山市・石川県漁業組合比較検討～

団体名●曾我基礎専門ゼミナール(2年)／代表者名●曾我千春(経済学部経済学科・教授)

## はじめに

本ゼミナールでは、前期に申へボン著『国際人権法入門』（岩波書店、2020年）を読み・要約・発表してきた。この中で特に日本における外国人に関する政策や制度の不十分さから保障・補償が希薄であり、人権侵害につながっていることを知った。また、ヘイトスピーチなどの差別の問題もなくなる。

このようななか、本学の白山市との地域貢献活動推進事業で外国人の方へのインタビュー調査を実施することとなった。他方、白山市の外国人の方へのインタビュー調査結果と比較検討するために、石川県漁業組合（以下、石川漁協）に所属している外国人技能実習生へのインタビュー調査を実施することとした。

## 活動内容

### (1)白山市外国人の方へのインタビュー調査

(2022年10月29日(土)、11月20日(日))

白山市(松任文化会館)で行われている交流サロンの企画する日本語教室などに参加している外国人の方に簡単なアンケート調査を実施した。アンケート内容は基本的に「はい・いいえ」で答えられるものにし、日本語があまり得意ではない人にも理解しやすいように漢字にふりがなを振ったり、優しい日本語で質問用紙を作成する等と工夫した。

### (2)石川漁協の技能実習生へのインタビュー調査

(2022年10月29日(土) 10:00～)

石川漁協の在籍する6名のインドネシア人の方に設問に対し YES・NO で回答していただき、理由などはインドネシア語で回答していただき後日翻訳した。

## 成果、結果の考察

### (1)白山市外国人の方へのインタビュー調査結果から

「日本でもらえるお金の満足していますか」「差別を感じたことはありますか」という質問に対して、共に38%の人がいいえと回答しており、この現状に対する改善策が求められる。日本人の外国人に対する態度

を見直したり、気遣いを見せることで、暮らしやすい世の中を実現できる。様々な職種や年齢による条件の違いにより、全ての人に当てはまる結論はない。よって、差別や偏見による対応ではなく、それぞれの悩みを聞いて対応することが大切である。

### (2)石川漁協技能実習生へのインタビュー調査結果

多くのインドネシア人の方々は日本の生活に満足していることがわかった。不便だと感じる点については何人もの方が同じ理由をあげている。不便と感ずるのは、言語や宗教の違いがあるからであると考えられる。

## 今後の課題

今後は、人権保障の視点から、国の外国人政策との関係から分析をすることが必要となる。

